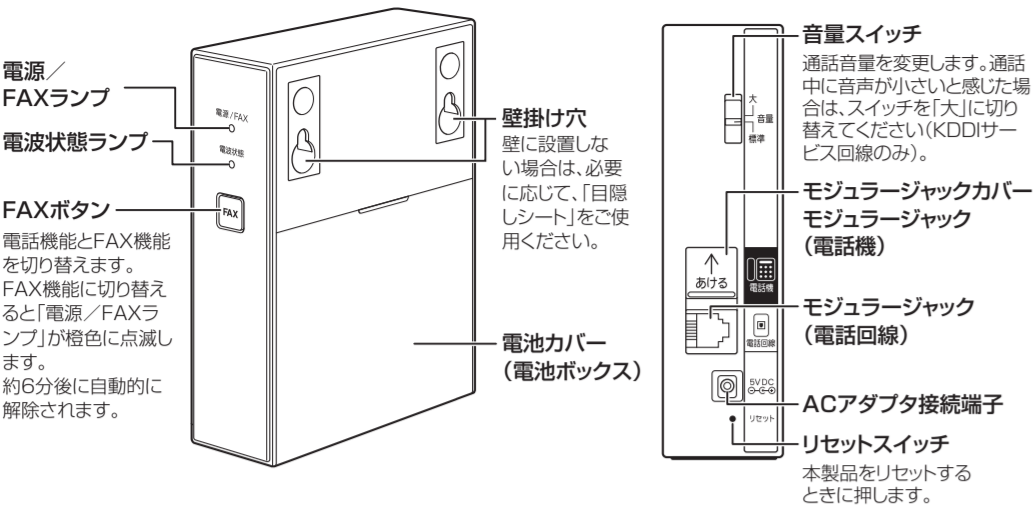


各部の名称



- お知らせ
- リセットスイッチは先の細いもので押してください。ただし、先の折れやすいものや先のとがったものでリセットスイッチを押さないでください。

● ランプについて

ランプの名称	表示(色)	機能説明
電源/FAXランプ	ゆっくり点滅(緑)	本製品が起動中です。しばらくお待ちください。
	点灯(緑)	電源が入っています。本電話サービスをご利用いただけます。
	点灯(橙)	電源が入っています。本電話サービスの開通前の状態ですが、それまでは従来の回線をご利用いただけます。
	消灯	電源が切れています。ACアダプタの接続を確認してください。
	早い点滅(緑⇄橙)	設置場所が高温です。周囲温度を確認してください。
	早い点滅(橙)	電波を受信できていません。設置場所を変更してください。
電波状態ランプ	点灯(緑)	電波状態が良好です。
	点滅(緑)	電波が弱い状態です。設置場所を変更してください。
	点滅(緑⇄橙)	起動に失敗しました。
	消灯	圏外です。ネットワークに接続していません。

※ 通常の「点滅」状態とは約1秒間隔となります。

FAX送信のしかた

通常の操作でFAX送信できます。なお、通常の操作で送信できない場合は以下の方法でFAX送信することもできます。

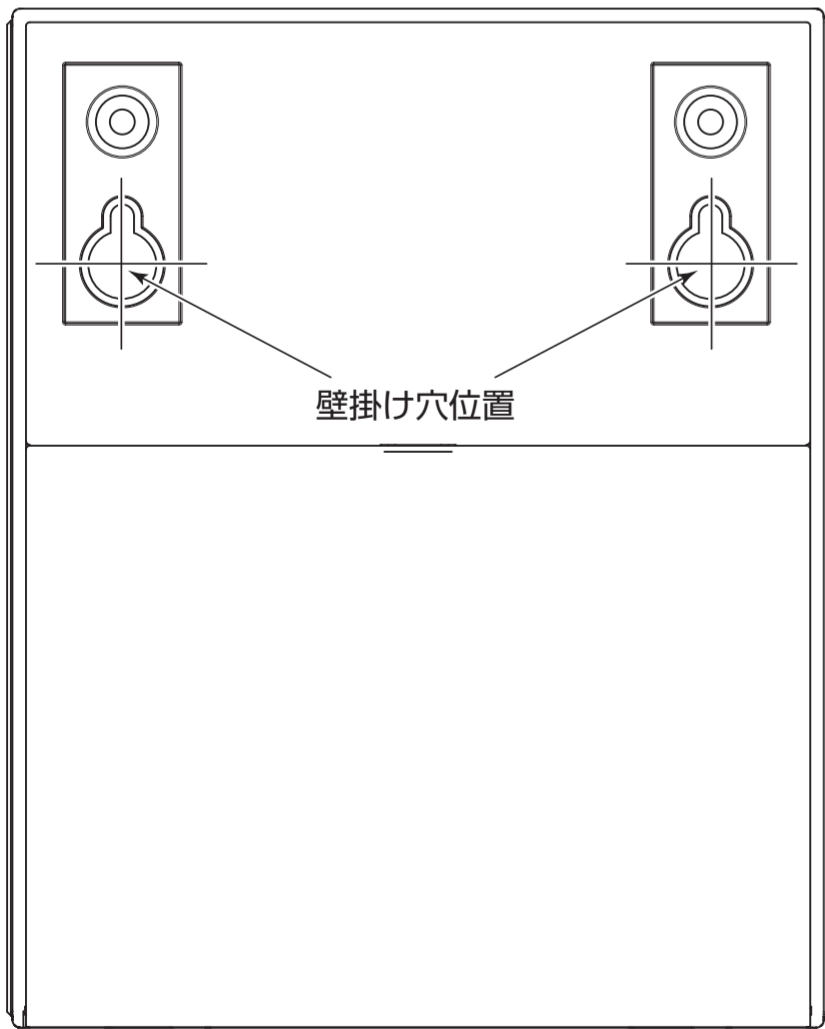
- 本製品のFAXボタンを押してから、通常のFAX電話機の操作で送信する
- 送信する相手の電話番号の前に0009と押してから、通常のFAX電話機の操作で送信する

■お知らせ

- 相手の電話番号の最後に#を押すことで、すぐに通話またはFAX送信することができます。

取付用台紙

壁掛け用ネジを取り付けるための台紙です。台紙はコピーしてご利用ください。

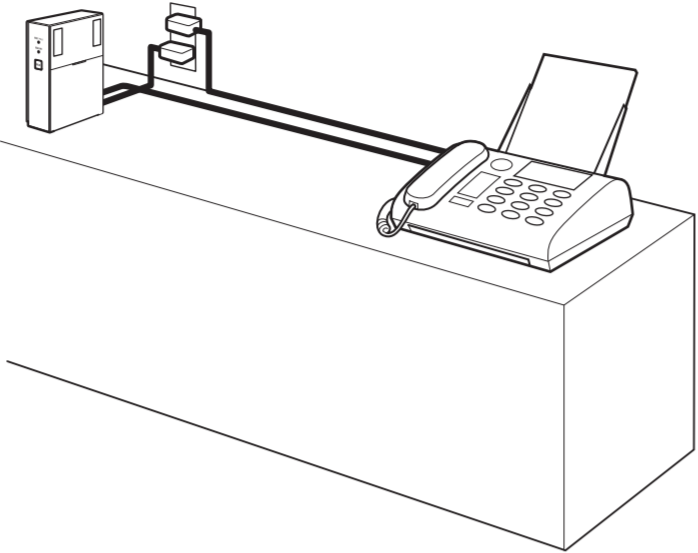


設置場所による本製品の準備

設置しようとしている場所で、本製品の電波状態ランプが緑色に点灯しているかをご確認ください。消灯または点滅している場合は、本製品の設置場所を改めてご検討ください。

机などの上に設置する場合

ランプ状態が確認できる位置、またFAXボタンが操作できる位置に取り付けてください。



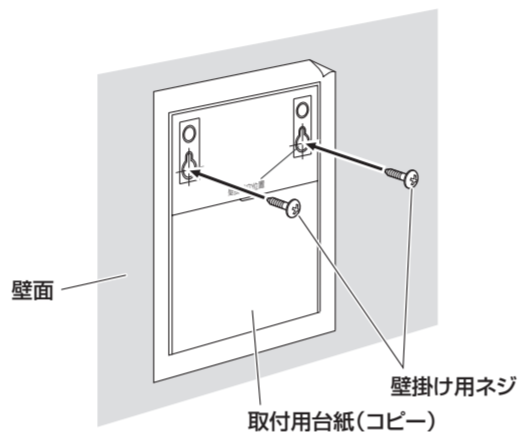
壁に設置する場合

① 本書にある「取付用台紙」をコピーし、コピーした「取付用台紙」を利用して壁に壁掛け用ネジを取り付ける

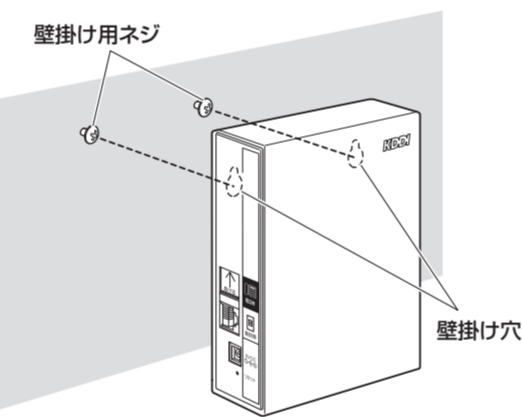
- ※ ネジ部(溝のある部分)が見えなくなるまでネジを締めてください。
- ※ 壁掛け用ネジを取り付けたら、台紙を取り外してください。

■お知らせ

- 壁に設置する場合は、ネジの外れやすい壁(石膏ボードなど)は避けてください。
- カーテンなどの布製品がかからない場所に設置してください。



② 取り付けた壁掛け用ネジに、本製品の壁掛け穴を引っかける



■お知らせ

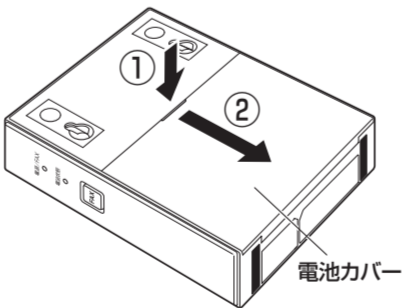
- 設置後は本製品の上に物を乗せないでください。

乾電池を取り付ける(停電になったとき)

本製品は停電時や緊急時に乾電池でも動作します。市販の単三形アルカリ乾電池4本をお客様にてご用意ください。

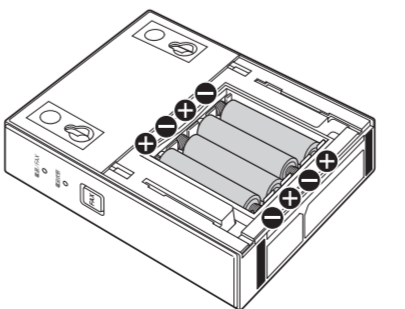
① ACアダプタが取り付けられている場合は、ACアダプタを取り外し、モジュラーケーブル(黄)(電話機、電話回線とも)を外す

② 電池カバーの溝を①の方向に軽く押し、②の方向にスライドさせる



③ 単三形アルカリ乾電池を取り付ける

乾電池を取り付けるときは、電池ボックスにある刻印でプラス(+)、マイナス(-)の向きを確認してください。手順②と逆の手順で電池カバーを取り付けてください。



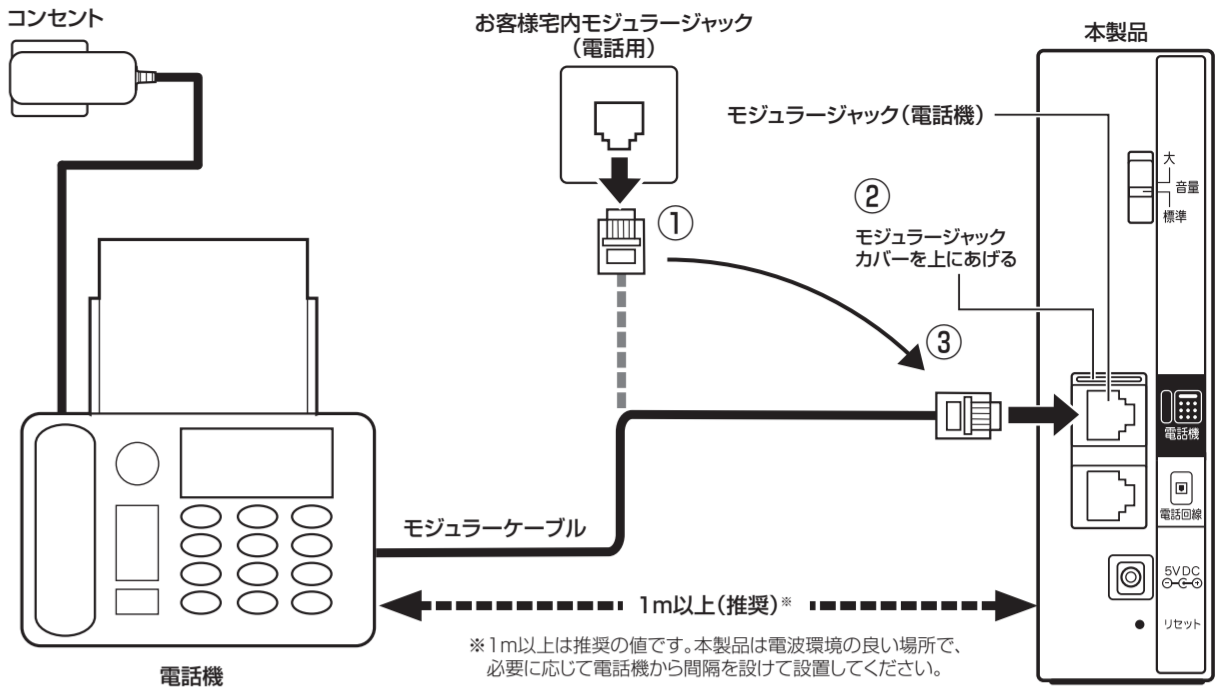
■お知らせ

- 乾電池の利用は停電や緊急時とし、通常時では乾電池は取り外してください。

接続のしかた

下図のように機器どうしを接続します。接続は、図の手順の通りに行ってください。本製品はACアダプタから電源が供給されると自動的に電源が入ります。

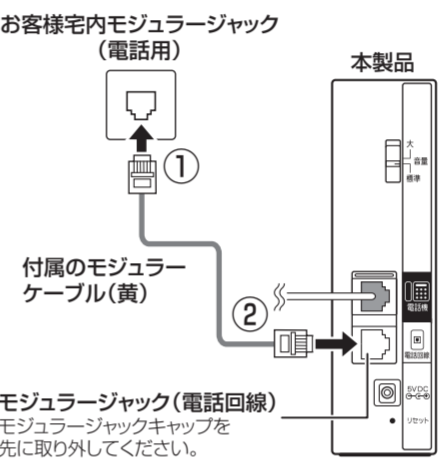
① お客様宅内モジュラージャック(電話用)からモジュラーケーブルを外し(①)、本製品のモジュラージャックカバーを上にあげて(②)、外したモジュラーケーブルをモジュラージャック(電話機)に接続する(③)



② 付属のモジュラーケーブル(黄)をお客様宅内モジュラージャック(電話用)に差し込み(①)、反対側を本製品のモジュラージャック(電話回線(黄))に接続する(②)

モジュラージャック(電話回線)にモジュラージャックキャップが取り付けられている場合は、取り外してください。取り外したモジュラージャックキャップはなさないよう保管しておいてください。

※ NTT回線(加入電話/INSネット64)等をご利用でない場合、本手順は不要となります。



■ご注意

- お客様宅内モジュラージャックは、壁に設置されたコンセント、または宅内に設置された既存電話サービス用機器など、従来のモジュラーケーブルが接続されていたものを指します。
- 本製品のモジュラージャック(電話機)とお客様宅内モジュラージャック(電話用)を接続しないでください。故障の原因になる場合があります。
- 本製品では電話機のプランチ接続(並列接続)はできません。
- 本書内で記載しているサービス名称は一般に各社の商標または登録商標です。

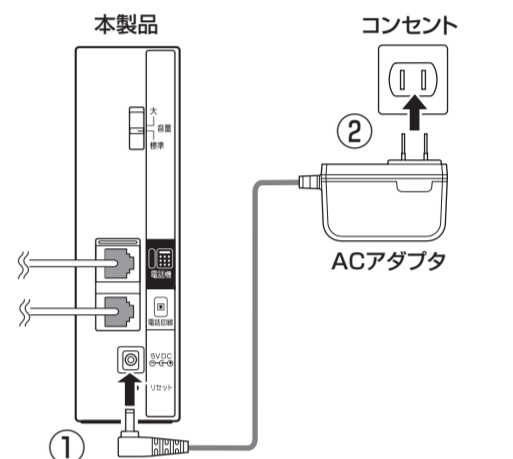
故障とお考えになる前に

こんなときは	ご確認ください
動作しない、電源/FAXランプが点灯しない	接続方法が間違っていないですか。 ACアダプタが正しく接続されていますか。
停電時に動作しない	同梱品以外のACアダプタを使用していないですか。 乾電池の向きが逆になっていませんか。または消耗していませんか。 アルカリ乾電池を使用してください。
電源/FAXランプが点滅(緑⇄橙)している	初めて電源を入れた際、起動に失敗した可能性があります。ACアダプタを抜き差ししていただき、本製品を再度起動させてください。
電源/FAXランプが早く点滅(緑⇄橙)している	設置場所が高温になっていませんか。 製品に直射日光が当たっていませんか。 →直射日光や熱を発するものを避けて設置してください。 指定のACアダプタ以外のACアダプタを使用していないですか。 →本製品は指定のACアダプタと組み合わせてください。
電源/FAXランプが早く点滅(橙)している	電波を受信できません。設置場所を変更してください。ACアダプタを抜き差しいただき、本製品を再度起動させてください。
電源/FAXランプがゆっくり点滅(緑)している	本製品が起動中です。しばらくお待ちください。
電源/FAXランプが点滅(緑)している	本製品のファームソフトウェアを更新しています。しばらくお待ちください。
電波状態ランプが点滅(緑)している	設置している場所は電波が弱い状態です。設置場所を変更してください。
電源/FAXランプが点滅(橙)して、電話ができない	FAX機能が切り替わっています。FAXボタンを押して電話機能に切り替えてください。電話機能では、電源/FAXランプが緑色で点灯します。
ランプの点灯異常や正しく動作しない	一度電源を入れ直してください。それでも直らない場合はリセットスイッチを押してください。

③ 本製品にACアダプタのDCプラグを取り付け(①)、最後にACアダプタをコンセントに差し込む(②)

本製品の起動後、電源/FAXランプが点灯(橙)し、KDDIサービス回線に切り替わるまでは、従来の電話サービスが引き続きご利用いただけます。

※ 公衆回線をご利用でない場合、本製品の起動後、電源/FAXランプが点灯(緑)すると、本電話サービスをお使いいただけます。



● KDDIサービス回線への切り替えが終わったら・・・

- 回線の切り替えが完了すると、電源/FAXランプが点灯(緑)に切り替わります。従来の電話サービスが使えなくなり、本電話サービスに移行します。
- 手順②で接続した付属のモジュラーケーブル(黄)は不要となります。安全のため本製品およびお客様宅内モジュラージャック(電話用)から取り外し、本製品のモジュラージャック(電話回線)にモジュラージャックキャップを取り付けてください。
- 回線種別(OP:ダイヤル回線/PB:プッシュ回線)の切り替えのできる電話機をご使用されている場合には、PBIに設定されていることをご確認ください。

知的財産権について

この取扱説明書で説明されている本製品にインストールされているソフトウェアについては、お客様に使用权が許諾されています。本ソフトウェアのご使用に際しては、以下の点にご注意ください。

- ソフトウェアのソースコードの全部または一部について、複製、頒布、改変、解析、リバースエンジニアリングまたは導出を行ってはなりません。
- 法律や規則に違反して、ソフトウェアの全部または一部を輸出してはなりません。
- ソフトウェアの商品性、特定目的への適合性、第三者的財産権の非侵害などの黙示の保証を行うものではありません。

ただし、ソフトウェアに含まれる、GNU General Public License(GPL)、GNU Library/Lesser General Public License(LGPL)およびその他のオープンソースソフトウェアのライセンスに基づくソフトウェアならびに京セラ株式会社が許諾を受けたソフトウェアのご使用に際しては、当該ソフトウェアのライセンス条件が優先して適用されます。なお、オープンソースソフトウェアについては、以下に明示しております「オープンソースソフトウェアについて」をご確認ください。

■オープンソースソフトウェアについて

本製品は、GNU General Public License (GPL)、GNU Library/Lesser General Public License (LGPL)、その他のオープンソースソフトウェアのライセンス条件が適用されます。GPL、LGPLおよびその他のライセンスの具体的な条件については、京セラ株式会社のホームページからご参照いただけます。詳細については京セラ株式会社のホームページをご覧ください。本製品には、京セラ株式会社が著作権を有するソフトウェアおよび京セラ株式会社が許諾を受けたソフトウェアが含まれています。本製品に含まれる、京セラ株式会社がオープンソースソフトウェアの規格やライセンスに準拠し設計、開発したソフトウェアの著作権は京セラ株式会社または第三者が有しており、著作権法上認められた使用法および京セラ株式会社が別途認めた使用法を除き、お客様は京セラ株式会社に無断で頒布、複製、改変、公衆送信などの使用を行うことはできません。

OpenSSL License

[OpenSSL License]

Copyright © 1998-2011 The OpenSSL Project. All rights reserved.
This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)
THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OPENSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OPENSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

[Original SLeay License]
Copyright © 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com) All rights reserved.
This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)
THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.